

# 長崎県のつどい—共感しよう仲間、広がりう思い、つながろう地域—（登校拒否・不登校・ひきこもり）

特定非営利活動法人 フリースペースふきのとう  
〒857-0874 長崎県佐世保市京坪町8番1号

## 助成事業の概要

近年、私たちの街で悲しい事件がおきた。佐世保女子高生事件の衝撃は大きく、大人も子どもも様々な立場で動揺し、どうぞいていくかまだ迷いの中にいる。この「つどい」を通して、深い苦しみの中からじっくりと自分と向き合い、大人が子どもと向き合える学びを深め、県・市・県内各機関・NPO団体などに呼びかけ交流と学び場である「登校拒否・不登校・ひきこもり」のつどいを開催し、ひとりぼっちで悩む親や教師をなくしたいと「共感しよう仲間、広がりう思い、つながろう地域」をテーマに交流会を開く。

時期：

2016年6月26日（日）10：00～16：30

場所：

アルカスSASEBO3F大会議室、中会議室、小会議室、和室、地下第2リハーサル室、練習室2・3

佐世保市男女共同参画推進センター「スピカ」研修室1・2、創作室

テーマ別交流会

- ①不登校 ②発達障がいと不登校とひきこもり
- ③いじめと自殺 ④ひきこもりと家族支援
- ⑤居場所づくりと就労支援 ⑥若者たちの仕事おこし ⑦医療と福祉 ⑧手をつなぎ支えあう連携づくり

## 事業の成果

今年度のつどいは各機関や行政、医療機関などが分科交流会のコーディネーターを務め、民間と機関や行政がつながり取り組めたことが大きな成果。

佐世保市女子高生事件から民間との連携も強められ、児童相談所からの関わり方も、不登校（小学校・中学校・高校とそれぞれ）の担当の方が参加され、市民・県民の声もしっかり聴いてもらえた。

不登校、ひきこもりに対して、各機関や地域など広く理解者を広げることができた。ひきこもりの家族などが心を解きほぐし、地域の中で生きやすくなり、それによって当事者の青年たちが自ら立ち上がることがしやすくなることにつながった。40才～50才のひきこもりを持つ親は70才～80才代の高年齢であり、親はいずれ我が子を残して先にゆくことを考えると、夜も眠れない状況があり、ひきこもり関係の分科会で出される議論が大きな力となり交流につながった。

長崎県は五島列島、壱岐、対馬、宇久など多くの離島を抱えている。離島は閉鎖的なところも多く、当事者や家族を追い込み、苦しめることもあり、県内でのつながりが活発になることで、人と人がつながり連携し、情報交流し、島の良さもアピールしながらの前向きな動きができるようになった。

## ■ 成果の広報・公表

---

今回の事業に参加した人たちからたくさんのアンケートを寄せて頂いている。(行政機関、教職員、民生委員、支援者、当事者の親など)

このアンケートの集約したものなど、今回、関わってくださった各機関などを通して、広く公表をお願いします。

## ■ 今後の展開

---

民間と行政が手をつなぎ連携することで、中間的な支援が充実していく。各機関、施設、行政とのつながりをもっと強めていくこと。また、各機関とつながることで見えてくる支援のあり方や、何が必要なのか、見えにくいところを悩んで苦しんでいる人たちに届く支援を、機関や行政と共に進めていく。